

上京区民ふれあいまつりに参加

10月28日（日）、素晴らしい秋晴れのなか催された「上京区民ふれあい区民まつり」にブース参加をさせて頂き、東北の宮城県石巻産のサバを使用したレトルトのお惣菜や、福島県銘菓の「くるみゆべし」、学校のノベルティグッズの販売をしました。昼からは、小学生などの子どもたちに、震災がおきた各地の豆知識を駆使した「クイズコーナー」を担当しました。



新しく委員会に入った高校1年生にとって、模擬店で商品を売ることも初めて、クイズ大会を楽しく司会するのも初めて、初めてづくしのなかでも、各々が自分たちのできることを精一杯やることにつとめ、終わることが出来ました。イベントに参加されているお客様のなかには、「平女さんか、頑張りやあ」とか、「私、文房具買っていくからちょっと待っててえ」など足を止めて声を掛けて下さる方もおられ、参加する私たちもまた大きな励ましを頂きました。



参加した高校1年生の感想

高校1年 M・Tさん

上京区民ふれあいまつりは普段、ブース出店させて頂くイベントよりも参加者が多く活気がありました。高校1年生だけの参加だったので、普段先輩方に行っていた仕事をこなすのが大変でした。その分、地域の方々に「学生さんなのに、東日本の為に頑張って偉いね」と声を掛けて頂いて、心が温くなりました。今回のイベントの売り上げが少しでも、「東日本の力」になれば幸いです。

高校1年 M・Kさん

今回、福島の「くるみゆべし」と石巻の「さばの炊き込みご飯の素」、学校オリジナルグッズを販売させて頂きました。販売して思ったことは、商品を購入しようとはするものの、値段を見て購入しない人もいれば、被災地支援の活動の主旨を理解してたくさん購入してくれる人など様々でした。ですが、どちらの人たちにも共通していたことは、支援に協力してあげたいという「温かい心」だと思います。復興支援は、「温かい心」があってこそ成り立つものだと思うので、これからの活動も「温かい心」を持ち続けようと思います。

高校1年 M・Tさん

東日本被災地応援実行委員会のメンバーになって、初めてのイベントでした。高1だけで、しかも少人数で上手くいかなと不安でしたが、当日そんな思いはだんだん薄れていき、大変忙しかったけど、先生方やみんなで協力できて楽しい活動となりました。東北名物の販売では、友達と**共に呼びかけたこと**で購入してくれる人がいてやりがいを感じることができました。またその一方で、三人でステージの上で行った震災にかかわるクイズ大会も、子どもたちが元気に答えてくれたことが嬉しく思いました。

たくさんの協力があって、私も無事にイベントに参加することができたと思います。この気持ちを忘れず、今後の活動につないでいこうと思っています。今回の活動が、少しでも被災地への力になればと思います。

高校1年 M・Wさん

今まで物品販売はあまりしたことはなかったので、良い経験になりました。商品を見てくださる方は優しく、これからも物品販売や募金活動を「頑張りたい」と思えました。また、物品販売をするときは**もっと声をかけた方がいい**など学べることもたくさんありました。これからも被災地復興活動に取り組んでいきたいです。

高校1年 R・Tさん

私は、今回「上京区民ふれあいまつり」に初めて参加し、ステージ発表や物品販売を行いました。ステージ発表では、震災に関するクイズを考え、パネルを作りました。本番当日、ステージに立つとき、とても緊張しましたが、私自身も楽しくでき、無事に終わることが出来ました。「**私になにかできれば**」と思って入った東日本被災地応援実行委員ですが、私も何か人のためにできたのかと思うとすごく嬉しいし、これからも頑張っていきたいと思っています。

高校1年 S・Tさん

「上京区民ふれあいまつり」の参加では、なかなかできない貴重な体験をさせてもらいました。「平安女学院の東日本大震災被災地応援実行委員会」の活動をたくさんの人に知ってもらえるよう、お祭りの明るい雰囲気を通して、物品を販売することができたのはよかったと思いました。今回販売したのは、石巻の「サバの炊き込みご飯の素」、「サバのトマト煮」、「骨ごといわしの香味佃煮」、「サバのグリーンペッパー」などのレトルトのお惣菜や、福島の銘菓「ゆべし」、平安女学院のペンや付箋といったオリジナルの文房具です。こういった販売活動などによって、**東北の方々との繋がれば**いいなと思います。

あすの Kyoto 地域創生フェスタ



今年も京都府植物園で東北産の食品販売や活動報告をします。フェスタには多数の団体が参加し、企画も盛りだくさんです。是非みなさん見に来てください。

2018年11月23日（金・祝）

時間：9:00～16:00

場所：京都府植物園（地下鉄北山駅すぐ）